



受け継がれる無形文化財 第11回高玉芝居定期公演

2月11日、高栄会による第11回高玉芝居定期公演がさくらの里文化伝承館（蚕桑地区公民館）で行われました。この日上演された演目は「わたしもりおやこいしぐれ渡守親恋時雨」。生き別れとなっていた親子が15年の時を経て再会する筋書きにアドリブをきかせた役者たちの演技に終始笑いが起こり、観客は、「来年もまた観に来る。」と会場を後にしていました。4月には今年も釜ノ越サクラの下での上演が予定されています。



炭つてどうやってできるの？ 炭焼き窯で炭焼き体験会

2月7日、白鷹町ふるさと森林公園の炭焼き窯で、炭焼き体験会が開催されました。山形県木炭文化協議会と町が主催し、町内外から22人が参加。窯の見学や炭出し、飾り炭作り、竹炭作りと多くのことを体験しました。参加者の皆さんは、特に、ドラム缶を使った手作り窯での竹炭作りに興味津々の様子でした。炭を活用した先人の生活に触れることは貴重な体験であり、来年度も実施する予定です。



みんなが住みよい地域に 十王地区で地域づくりワークショップ

2月22日、十王地区で「公民館を語る会」が開かれました。十王地区では、東北公益文科大学の青木孝弘氏と学生の協力を得て、全戸を対象に、地区の住環境と15の生活分野の満足度についてのアンケート調査を実施。調査の結果からこれからの地域づくりを考えようと、調査の分析を行った学生も参加してのワークショップを行い、「地区内の各世代が一緒になる機会がもっと必要ではないか」などの話し合いがされました。



くらしと税金を学んで 高校生が租税教室で教材を作成

2月18、19日、荒砥高校1年次生を対象に租税教室が開かれ、税についてを理解し、その学習を活かそうと小学生の租税教室用の教材を作成しました。「お金の種類は何種類？」「お年玉やおこづかいに税金はかかる？」など、小学生にも身近なことを○×クイズにし、イラストを貼ったりしてより親しみやすいように作成。完成した手作りの教材は「大切に使ってください」と西置賜租税教育推進協議会に贈られました。

第26回町民インディアカ大会

3月1日 荒砥小学校体育館

- 第1位 東根フレンズONE（東根）
- 第2位 T.S.C MOMO（荒砥）
- 第3位 T.S.C SAKURA（荒砥）
- 第3位 あらと（荒砥）

第27期十王囲碁名人戦

2月11日 十王地区公民館

- 第1位 大滝 俊彦 六段（中山）
- 第2位 島津 紘恵 六段（南陽市）
- 第3位 大友 雅彦 六段（南陽市）
- 第4位 高山 正宏 四段（荒砥甲）
- 第5位 加藤 泰浩 七段（高島町）
- 第6位 五十峯 隆 六段（十王）